



The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 13 | Issue 7 | June 2010

この号では...

- ▶ファミリーデー...p. 2
- ▶MYP コミュニティーとサービス...p. 6
- ▶大学合格状況最終報告...p. 3
- ▶スタッフ 10!...p. 7
- ▶ハビタット・フォー・ヒューマニティー報告...p. 4
- ▶リサーチ能力を高めるために...p. 8
- ▶Ms Cookeからのお別れメッセージ...p. 5
- ▶日本語について...p. 9
- ▶クラス替えについて...p. 5
- ▶シノ・ジャパン・ユースコンファレンス...p.9
- ▶Shreyaのインターンシップ...p. 5
- ▶スクールコンサート...p. 10

今度会う前に必要なのはさよならです。今度会う時、それはすぐ訪れるかもしれないし、長い時間がたってからかもしれない。でも友達だったらまたいつか必ず会える。
リチャード・パツハ

学校長より

この学期を通して、G5のPYPエキシビジョンやローワー、プライマリー、セカンダリーコンサート、スプリングウェルカムパーティーやファミリーデー、ハビタットフォーヒューマニティーのダンスパーティー、そしてもちろん、本日も行われましたMYPとDPの生徒のセカンダリースクールの卒業式に参加できたことを喜ばしく思います。これらの行事はすべて、それぞれのやり方で本校におけるプログラムや生徒や学校の独自性を祝っていました。すべての行事が、参加者にとって喜びとなったことでしょう。生徒たちは、伸び盛りにある能力を使って、知識や考え、意見や経験を表すと同時に、ユニークな才能や能力を披露しました。これらの機会を通じて、生徒たちが伝達者、リスクを負う者、思想家、探究者になろうと努力する姿を見ることができました。

私はこの機会に、生徒たちの本年度の功績を讃えたいと思います。生徒たちは、成長していく姿を見せることによって、私たちスタッフの1年を価値のある、満足のいく1年にしてくれました。月曜日に、生徒たちがポートフォリオや成績表を持って帰宅しますので、それらをお子様と一緒にご覧になりながら、今年度学んだことや各自が設定した将来の目標を各家庭にてお話いただければと思います。

今学期の終わりに、たくさんの先生方や、生徒たちにお別れを告げなければいけないことを悲しく思います。学校の発展のために素晴らしい貢献をしてくれたことを感謝しています。私事になりますが、私もすべての生徒、スタッフや保護者に皆様にお別れを言いたいと思います。これからもKISTコミュニティーの一員として良い時が過ごせますように。私は当校にて、生徒たちと楽しい時を過ごすことができ、また、常に感動を与えてくれた素晴らしい先生方と共に働くことができ、光栄でした。さようなら。

最後になりますが、全教職員を代表して、皆様が無事で楽しい休暇を過ごされますようお祈りいたします。8月に学校が始まる時に備えて、ゆっくりお休みください。

Anne Grahame
Head of School

DATES TO REMEMBER



June 21:
End of year reports issued

June 21 - 24:
No clubs or ESL this week

June 22:
(G5) Graduation ceremony (Evening)

June 23:
(L/P) End of Spring Term

June 24:
(S) End of Spring Term (Students return home before lunch)

June 28 - July 9 / August 2 - 20:
Summer Programs 2010 at KIST

August 19:
(K1) Parent Welcome Night

August 23:
(L/P/S) Start of Autumn Term

August 31:
(K2/K3/G1) Parent Welcome Night

September 1:
(G2-G5) Parent Welcome Night

September 2:
(G6-G12) Parent Welcome Night

ファミリーデー

ファミリーデーは、楽しいゲームやインフォーマルな場で、学校コミュニティに属する人々が交流する機会を提供します。本年度は5月22日土曜日に開催されました。天候にも恵まれ、晴れた暖かい日になりましたので、アクティビティーは校庭にて行われ、当校の素晴らしい人工芝が役立つこととなりました。

本年度行われたアクティビティーは、ピニャータ、タッグオブウォー、椅子取りゲーム、クイズ、リレー、球技、ゴム飛びなどでした。このようなアクティビティーと同時に、校長たちの会議や、サマープログラム、ファインダーズアワード、大学入試に関する説明会が行われました。また、今年KISTを去る予定のスタッフに贈るメッセージボードも用意され、来校者が感謝のメッセージを書けるようになっていました。

当日の食べ物や飲み物の売上から得た寄付は、146,997円にもなりました。これらのお金は、現在進行中の人工芝ファンドレイジングキャンペーンに寄付されます。ファミリーデーの企画に携わり、アクティビティーやブースを運営して下さったスタッフや保護者の皆様、また、当日来校され、アクティビティーにご参加くださったご家族の皆様に御礼申し上げます。皆様がファミリーデーにて楽しい1日を過ごされたことを願っています。



ファミリーデイのフィードバック

ファミリーデイに関するフィードバックをくださったご家族の皆様にご感謝いたします。

以下に、寄せられたコメントの一部を挙げておきます。

- ・初めて参加したのですが、子どもがとても楽しんでいました。この行事のために一生懸命働いてくださった方々に感謝しております。
- ・事前にアクティビティーの練習をすることで、より良くなったかもしれません。
- ・このような素晴らしい日を実現させるために努力した方々に感謝します。
- ・就学前の年齢の子どもや、生徒たちの兄弟で本校に所属していない子どもたちが見ただけだったので、このような子どものためのゲームがあっても良かったかもしれません。
- ・説明会はとても役立つものでした。しかし、全員がプレゼンテーションを聞くために座ると思っていたので、最初は混乱しました。
- ・天候にも恵まれ、素晴らしいファミリーデイでした。
- ・ベジタリアン用の食べ物が少なかったです。
- ・食べ物や飲み物の値段が手ごろでした。
- ・もう少し早く始めて、早く終わる方が良いと思いました。
- ・保護者と子どものためのゲームや、母親のみで行われるゲームは、他の家族を交流しながら楽しむ良い機会となりました。
- ・以前は、ハウスカラーでチームを組んだという話を聞きました。皆がゲームを見て応援するので、その方が良いのではないかと思います。
- ・楽しかったのですが、時間について、2、3週間前には知りたかったです。
- ・女の子対男の子よりも、クラス対抗にした方が良かったと思いました。
- ・お祭り気分で楽しかったです。素晴らしかったです。
- ・バスの駐車場にテントは建てられませんか。そうすれば日陰に入ることもできるし、邪魔にもならないと思います。
- ・参加が困難な保護者がいた場合に、ゲームを変えるという柔軟な対応を取っていただき、ありがとうございました。
- ・年長の生徒たちは、アクティビティーの数が足りないと思ったようです。
- ・アクティビティーをもう少し難しくしても良かったかもしれません。
- ・全体的に、スタッフや他の保護者の方と話す良い機会となりました。

大学合格状況最終報告



すべての入試結果は出揃い、KISTの生徒は、今年も素晴らしい取り組みを見せ、とても優秀な大学への合格を勝ち取りました。KISTでG12の生徒を持つのは5年目ですが、卒業生が少ない中でも、KISTの生徒が入学を許可された大学の数々はとても印象的です。このリストは、重要な2つのことを示しています。一つ目は、本校の生徒は優秀で、世界中の大学が求めているような準備の整った個人であること。二つ目は、大学がIB教育を高く評価していることです。Mrs OkudeとMr Wagnerは、それぞれの生徒に合った進路選択がされるように、疲れを知らずに働いています。生徒や保護者、そして世界中の大学がKISTの哲学をサポートしています。Mrs OkudeとMr Wagnerは、ファミリーデイにて1日中、様々な学年の生徒や保護者とKIST卒業後についての計画や選択について話し合っていました。お子さんの進路についてのご相談はいつでも受け付けております。どうぞお気軽にご連絡ください。Mrs Okude: k_okude@kist.ed.jp; Mr Wagner: m_wagner@kist.ed.jp

KIST 2010年卒業生(現G12)大学合格実績

アメリカ合衆国

プリンストン大学 | スタンフォード大学 | ペンシルベニア大学(ウォートン校) | シカゴ大学 | デューク大学
 ダートマス大学 | ジョージタウン大学 | 南カルフォルニア大学 | レンセラー工科大学 | マイアミ大学
 ノースイースタン大学 | ロチェスター工業大学 | パシフィックルーセラン大学 | ドウルリー大学 |
 ペンシルベニア州立大学 | サンフランシスコ大学 | エバーグリーン州立大学

イギリス

インペリアルコレッジ ロンドン | キングズコレッジ ロンドン | ウァウリック大学 | セントアンドリュース大学 |
 グラスゴー大学 | ロンドン芸術大学(チェルシー校)

カナダ

ブリティッシュコロンビア大学 | ビクトリア大学

日本

国際基督教大学

その他

グリオン大学(スイス) | サバンナ芸術大学(香港キャンパス) | 香港大学 | 香港中華大学

G4、5 ミニ運動会

6月11日金曜日に、G4とG5はPEアスレチック・コラボレイティブ・ユニットの一環として、ミニ運動会に参加するため、校外に出ました。この日は大成功に終わり、参加者全員、特に生徒たちが楽しく過ごすことができました。ハウスチームを応援するために参加されたご家族の皆さまに御礼申し上げます。生徒たちは、高跳び、幅跳び、テニスボール投げ、輪投げ、リレーなど各種目に参加する度にハウスに点を入れることができました。また、ともだちを応援したり、チームスピリットを見せたりするとボーナスポイントをもらえました。得点を合計するとイエローチームが優勝し、レッド、ブルー、グリーンが僅差でその後に並びました。来年、もう一度対戦するのを楽しみにしています。皆さんおめでとう！

Emma Homerlein and the PE team!



ハビタット・フォー・ヒューマニティ近況報告

保護者やスタッフ、生徒、また、その他スクールコミュニティに所属する方々へ

KISTのハビタット・フォー・ヒューマニティ・チームは、皆さんからいただく時間や寄付を通して、揺らぐことのない支えをいただいていることを大いに感謝しております。インドネシアのバリ島北部において農村の貧困地域に住む人々に機能的で安全な家を提供することを、皆さんは私たちと共に可能にしてくれています。

年間を通じた募金キャンペーンは、私たちのチームが世界で有名な人道的タスクに参加するための資金を集めるために行われました。KISTには、生徒たちが、人道的支援について学び、国際的に高く評価されているハビタット・フォー・ヒューマニティと共同で活動をする伝統があります。

KISTコミュニティが集めた寄付金は、スクールチームが深刻な貧困に苦しむ家族に、質素でありながらも、安全な家を建てることを支援しています。これは、皆さんの寄付金のおかげで材料を買うことができると共に、チームがその田舎の地域に赴いて地域のプロの大工さんたちのお手伝いをし、その家に住むことになる家族を助けることを可能にしています。過去のスクールチームは、この旅行に参加して、近代的なインフラや便利さのある住まいを享受することのありがたさを身をもって知ることができました。

この共同プロジェクトは、道義心がある人、思いやりのある人、振り返りができる人、コミュニケーションができる人、知識のある人、挑戦する人を育成するという、IBカリキュラムの「求められる学習者像」の考え方の基本に取り組むものです。これらの特質は、生徒を、国際的に尊敬される、思いやりのある態度をとることのできる生涯の学習者にするという点において、本校のカリキュラムの最終目標になっています。今一度、皆さんの寄付に感謝したいと思います。

このプロジェクトの詳細を知るには、学校の様々な場面で、チームメンバーを通し、彼らの見識や経験を聞いてみて下さい。また、ハビタット・フォー・ヒューマニティのウェブサイトでも、詳しい情報を得ることができます。

http://www.habitatjp.org/index_e.php

チーム KIST 2010について

チームKISTは、6月20日から29日まで、インドネシアを訪問します。

今年のチームは、G11の12人の生徒で構成されています。(Faye, Jessica, Hikaru, William, Matthew, Maung Pyay Phy, Aki, Tahlia, Dingyun, Jeff, Junichi, Ralang) KISTの教員、Mr D. Bates と Ms Hudsonが引率として加わりま

チームKIST 2010のインドネシアでの活動がうまくいきますように！

さようなら、KIST.

ご存知の通り、私は今年度の終わりに、オーストラリアに帰国します。この機会に、4年間、KISTで素晴らしい時間を過ごせたことを、すべての生徒とスタッフ、保護者の皆さまに感謝したいと思います。多くの皆さまがご存知の通り、私は2006年にK3の教員としてKISTで働き始めました。その時から今まで、とても充実した日々を過ごしてきました。この4年間にあった良い変化や発展を振り返り、継続しているチームワークと、協力があってこそ、本校が今日ある姿までたどり着くことができたのだと誇りに思っています。当校としましては、引き続き、様々な分野において発展していこうと思っています。私は、今のスタッフ、また新たに加わるスタッフと共に、創立者のビジョンを大切にしながら、KISTコミュニティは引き続き成長し、発展していくことを確信しています。

最近、2008年6月に私がニュースレターに書いた記事を読みなおしました。ローワースクールの校長としての最初の1年間を振り返り、私は、自分の仕事の楽しみの一つとして、たくさんの生徒や先生、ご家族を、K1からG12まで、学校全体を通して知ることができることを挙げていました。これは引き続き私にとって非常に大きな喜びとなっています。このつながりを通して、私は自分の家族が日本にいない中で、KISTコミュニティの一員であるという自覚を得ることができ、日本での時間を、愛情を持って思い出すことができるものとしてくれました。

ご存知の通り、IBの考え方は、学ぶことはまだまだ沢山あると自覚し、何が、誰が自分の学びの助けとなってくれるか考えているのが、生涯学習者の印であるとし、生涯学習を力強く主張しています。私はいつも直接、実際的な体験をすることは学習を続けていく中で不可欠であると強く主張してきました。よって、「説くことを実際に、実行せよ」のスタイルを本当に実現するために、私のオーストラリアへの帰国は、私自身の直接、実際的な体験をする旅になることと思いま

す。7月8日に、中国に渡航し、そこで、ChengduからBangkokまで、3ヶ月間、自転車で旅をします。4カ国をまたぎ、モンスーンの季節も重なることですので、今までの人生が私に、旅の中で巡り会うであろうたくさんの素晴らしく、また挑戦的な体験を乗り越えるだけの力を授けてくれていることを願っています。自転車で旅するという事は、もちろん誰にでもできることではなく、私は、自分は勇敢な冒険者であるか、ただの馬鹿であるという考えの間を揺れ動いています。けれども、この話が、皆さんが、お子様と共に、学びの旅に少しスパイスを加えるような経験を作るきっかけになればと思っています。

いつもながら、最後に引用で終わろうと思います。この引用は、インターネットの無名の資料からきています。今までに使われたお気に入りの引用と同様に意味深いものですが、少し違う見方から人生を見ています。これは、私たちが皆、時節思い出すべき考え方ではないでしょうか。

「人生は、安全に保護された体でお墓にたどり着くための旅ではない。どちらかと言えば、余すところなく使われ、完全使い古された状態で船べりに滑り込み、大声で『わー！すごい乗り心地だったね！』と言う、そのようなものではないだろうか。」

皆さん、たくさんのことを、どうもありがとうございました！

お元気で。

Amanda Cooke
Lower School Principal



2010年、先生と生徒の クラス替えに関して

例年通り、新年度の教員と生徒のクラス替えは、8月の、新年度が始まる最初の日に発表になります。現在、教員の大まかな配置は決まっていますが、夏休みの間に変更になることがしばしばありますので、確定するまではお知らせしないことになっております。教員は現在、生徒のクラス替えに取り組んでいます。クラスは、今年のクラスから組み直され、新学年を新しいクラスで迎えることになります。クラス替えは、性別、ESLの生徒、国籍のバランス、学習の仕方やニーズ、社会的な活動力や、教師と生徒の関係などを考慮して行われます。教員は、団体としてまとまって機能することができ、かつ個人の、またグループとしてのニーズに答えられるようなクラスを作れるように最大限努めています。お子様の新しいクラスと先生については、8月の、学校が始まる初日にご連絡いたします。

Shreyaのインターンシップ

Shreya(G11)は、横浜市日吉にあるKMD(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科)において、際立って優秀な高校生のための特別インターンシッププログラムに参加することが決まりました。

Shreyaは、6月21日から7月23日までこのインターンシップに参加し、インタラクティブテクノロジーとロボット工学が専門で、以前MITのメディア研究室の研究員であった稲見昌彦教授の指導を受けます。稲見教授の代表的な功績としては、ジェームズ・ボンドの映画において透明人間のテクノロジーとして使用されたことが挙げられます。彼の功績を示す展覧会が、江東区青海の未来館で、6月14日月曜日まで行われています。詳細は、www.miraikan.jst.go.jpをご覧ください。

これはShreyaにとって、とても胸が高鳴るような機会になることと思います。この夏のインターンシップで有意義な経験ができますように願っております。



MYP コミュニティとサービス

Karleeのタイにおける素晴らしい奉仕活動の報告

数週間前に、私は母と共に、3週間タイに行きました。旅の最初、恵まれない人々のために、ボランティア活動をしました。最初は、Rayongにて、ハビタット・フォー・ヒューマニティーのための活動をし、市街地から20分ほど離れたところにあるイスラム教のコミュニティ内で、6人家族のために小さな家を建てました。この過程で、セメントの混ぜ方と、レンガを真っすぐに置く方法、そして家の床に敷く方法を学びました。その後、ローカルバスでPattaya向かい、そこにある孤児院を訪問しました。ボランティアをする初日には、何がふさわしいか分からなかったのですが、日本のお菓子と、ティーベアを寄付しました。別の日には、私が180人の住人のための、昼ご飯のスポンサーになりました。私は、放課後のチューターとして働いていたので、昼食を用意する際に使ったお金は、私がこの仕事で稼いだお金を使いました。孤児院の子どもたちのために、栄養のある健康的な食事を買うことができました。

孤児院で、私は子どもたちを抱いたり、一緒に遊んだりして、愛情を注ぐことができました。孤児院には一人の大人に対して、たくさんの赤ちゃんがいるので、全員の赤ちゃんが抱かれ、愛されている実感を得ることができるわけではありません。よって私たちはこの問題を少しは助けることができました。



もし、タイのPattayaに行く機会があるなら、この施設で暮らす子どもたちを訪問することをお勧めします。皆さんが簡単に情報を探せるよう、以下に、ウェブサイト載せておきます。もしあなたが承諾すれば、ウェブサイトにあなたが訪問した時の写真と日付をアップしてくれます。「アップデートニュース」から「ニュース2010」をクリックすると見ることができます。私がランチをスポンサーした時の写真も載っています。タイでボランティアをしたことは、素晴らしい経験になりました。必ずまた、行こうと思います。

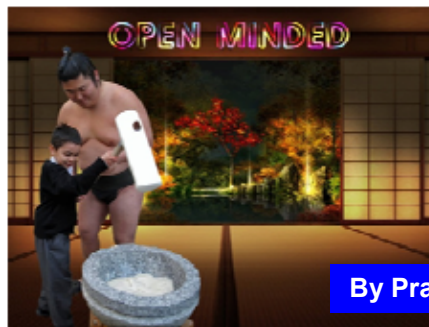
<http://www.thepattayaorphanage.org>

Karlee (G9B)

G7A フォトショップ・テクノロジー課題



By Rina



By Prakhar



By Haruki



By Keerti



By Jeet



By Hyun Jin



スタッフ 10!

今月の「スタッフ10!」は、カナダ出身のG1のErin Hoover先生をご紹介します。先生は、2009年からKISTで働いています。8月には、ローワースクールコーディネーターの役割を引きつぎ、PYPのミュージック・プログラムの監督者になります。



Ms Hoover スクールコンサートのステージにて

・何か故郷の面白い話を教えてください。

カレドニアは、オンタリオ州南部にある小さな街で、グランド川の両岸に位置します。グランド川は、オンタリオ州で一番大きな川で、私の故郷を美しいものとしてくれています。住むにはとても楽しい場所です!

・世界で好きな場所はどこですか。

これは答えるのがとても難しい質問です。今まで、たくさんの国々や特別な場所へ旅行したので、それぞれが個性的で素晴らしかったです。影に座ることができる木のある静かなビーチや、美しい水の中で泳ぐことができる場所が、私にとって一番好きな場所かもしれません。

・チャンスがあるならば、誰に会いたいですか。また、それはなぜですか。

もし機会があったら会いたい人はたくさんいます。今選ぶならば、エドモンド・ヒラリー卿に会いたいです。理由は、素晴らしい勇気と責任感を持ってエベレストに初めて登った人物だからというだけでなく、それ以後、おこなったすべてのことが素晴らしいからです。彼は、名誉におぼれ、楽な人生を送るのではなく、パキスタンの子どもたちのために懸命に働き、いくつも学校を建て、小さな村に住む男の子や女の子が教育を受ける機会を与えたのです。何年間も勉強するよりも、エドモンド卿のような素晴らしい人物と話す方が、もっといろいろなことを学ぶことができると思います。

・何か特別なスキルや才能はありますか。

様々なジャンルの音楽を聴いたり、演奏したりすることが好きです。ギターとトロンボーンが演奏できます。

・何かみんなが知らない先生の一面を教えてください。

好きな色は青です。いつかペットとして豚が飼ってみたいです。Can Cansという名前のバンドを組んでいます。

・宝物は何ですか。

これも答えるのが難しい質問ですね。何年もかけて、訪問した様々な場所や文化から集めた小さなパーカッションの楽器でしょうか。

・自分を表す言葉を教えてください。

エネルギー、前向き、心が広い。友達に聞いてみたら、楽しくて面白いも足すように言われました。

・人生をもう1度やり直せるとしたら、何か違うことをしてみますか。

私は、今までの生き方に満足しています。できるだけ、傍観者になって時間が過ぎていくのを見るだけの人ではなく、自分で行動を起こす人になる努力を私はしています。人生の終わりに、「何をしていたっけ。」と思うのではなく、「なんて最高だったのだろう!」と思えるようにしたいです。

・今、何か勉強していることや、上達しようとしていることはありますか。

私は人生の様々な面において、生涯学習者になろうとしています。様々なことに注意を払っていたら、毎日何か新しいことが学べる気がします。

・ファンに何かメッセージをどうぞ。

考えてほしい二つの引用を挙げておきます。
「私たちが自分自身に与えることのできる最高の贈り物は、自分自身の馬鹿馬鹿しさだ」引用元不明
「人生がどこに向かっているか正確に分かっている人は、思いもよらない場所に行きつく経験をする事ができない。」引用元不明

フリードレスデイの報告



5月18日のフリードレスデイは大成功に終わりました。この行事において寄付されたお金は、カスミソウ基金に寄付され、カンボジアのPrey Veng地方で緑化、また井戸を掘るプログラムを行っている農村支援プログラムを支えることとなります。寄付金の合計金額は、85,222円でした。これは、最低でも4つの井戸を作ることができる金額です。ご支援ありがとうございました。

Greg Brunton

Primary School Principal

2010-2011年度最初のフリードレスデイは、9月28日火曜日に行われます。寄付金は、SRCに寄付されます。テーマは、虹です。

虹は、異なったものが一緒になる不思議と、美しさを表しています。インターナショナルスクールにこれ以上ふさわしいシンボルがあるでしょうか。よって、次回SRCによって開催されるフリードレスデイのテーマになりました。フリードレスデイには、虹の中にある色の服装を着て来てください。この日には、集合して虹をかたどり、記念撮影をします。なぜなら、私たちは多様性を差別するのではなく、素晴らしいものだと考えるからです。

Student Representative Council

ありがとう!

6月9日水曜日に、ローワースクールのスタッフのために、サンキューランチを提供して下さった鈴木さん御一家(Koko G1B)に御礼申し上げます。料理は素晴らしく、スタッフ一同、とても感謝しております。素晴らしい料理がたくさんありましたので、学校中のスタッフが味わうことができました。計画していただいたMakilに、感謝の気持ちでいっぱいです。



Amanda Cooke on behalf of Lower School Staff

MYPとDPの探究ユニットにおいて リサーチ能力の養成を支える資料検索方法について

IBが抱く探究者の学習者像とは、「研究やリサーチをするのに必要な能力を身につけ、自立した学習ができる力」を習得している者だとしています。研究において自立しているというのは、自分で様々な資料にあたることができるということです。探究ユニットにおいて、生徒は、授業で使うような簡単な教科書から、個人で所有する研究の核となるような重要な教科書まで、多様な資料にあたります。今回はもう一つ、来年、探究ユニットにおいて使用したいと考えている重要な資料をご紹介します。

夏休みに入るにあたり、セカンダリーの保護者の皆さまに、本校の広大な情報を有する資料の一つである、クエスト・スクールというオンライン資料をご紹介します。クエスト・スクールの本や記事のデータベースを使うことは、グーグルでキーワード検索を行うことや、ウィキペディアの情報をただコピーしてペーストすることとは、全く異なります。このようなありふれたやり方は、東京ドームほどの大きさの総額何億円という本が貯蔵された図書館に行って、最初に目に入った子ども用の百科事典の前に座り、それだけで調査を終えてしまうようなものです。

2010/2011年度は、MYPからDPの

プログラムを通じて、リサーチ能力を養うことを特に重要な目標として設定しようと思います。その中で、自分で資料にアクセスすることができるというのはとても大切なことです。保護者の皆さまに、お子様がクエストの資料にアクセスするのを助けていただくには、夏休みが絶好の機会となります。G6からG12の生徒には全員にログイン方法と、パスワードが渡されます。MYPIに進学するG5の生徒にも、年度の終わりまでに渡すことになります。それを参考にしながら、やり方を理解してください。また、<http://www.questiaschool.com/search>で、デモンストレーションの映像を見ることができます。その後、ログインし、利用することができます。

下に、テキスト・サーチ画面の例を載せておきます。画像にあるように、このデータベースは、探している資料の正確な数字を表示するだけでなく、それを簡単に具体的な内容にしばることができます。例えば、「環境汚染」という言葉は、20,000冊の本やジャーナル、雑誌、新聞、百科事典の記事を表示しますが、そのなかからさらに、「有機物」に関する絞り込んだ資料を探することができます。この言葉がハイライトされ、文章をざっと読み、関連する事柄を探することができます。

これは、とてもレベルの高い読み手が行う方法で、この機能は生徒たちが読むことのできる資料のレベルを高めます。簡単に言うと、生徒たちは、難解な文章の中で、自分の求めている内容を探すために苦労しなくて良くなるのです。例えば私が環境汚染の中の有機物について興味を持っている読み手ならば、この資料をざっと読み、ハイライトがされている段落に行きついた時に、この段落を注意深く読めば良いのだということが分かるのです。

この貴重な資料を探す手段を使いこなせることは、お子様の学びを大きく支えることとなるでしょう。

Damian Rentoule

Deputy Head of School/Curriculum Director

The screenshot shows the Questia School website interface. At the top, there is a navigation bar with links for HOME, SEARCH, READ, PROJECTS, and PLANNER. Below this, there is a user profile section for 'Hello, Damian' with links for 'My Account' and 'Preferences'. The main content area displays search results for 'organic matter'. On the left, there is a sidebar with 'Find in Book' and 'Search Results' sections. The 'Find in Book' section shows the book 'Environmental Pollution Studies' by Gerry Best, published by Liverpool University Press in 1999. The 'Search Results' section shows a list of page numbers where 'organic matter' was found, with page 22 highlighted. The main content area shows a snippet of text from the book, discussing the control of copper pollution and the biochemistry of organic matter. The text is highlighted in yellow, and the word 'organic matter' is bolded. The page number '22 of 156' is displayed at the bottom of the search results area.

日本語とインターナショナル・チルドレンについて

夏休みがもう、すぐそこまで来ています。ご家庭によって、休み中に日本語に触れる機会は、多かったり少なかったり、それぞれ異なると思います。休み中、海外へ行かれるご家庭では、日本語に触れる場面は無くなり、今年度学んだことを忘れてしまうという結果を招きかねません。

それでは、日本にいない時に、どのようにして日本語を維持するべきでしょうか。ジャパン・ファウンデーションには、初級から上級の日本語学習者向けの素晴らしいウェブサイト *Erin's Challenge: I Can Speak Japanese* (www.erin.ne.jp) があります。このウェブサイトには、ビデオや練習ドリル、ゲームやミニ・カルチャーレッスンがあり、何より、すべて無料で利用できます。私は、G2からG11の生徒たちとこのサイトを利用してみましたが、本当に様々な生徒に対応しているサイトです。余談ですが、私はこのサイトの制作に携わりましたので、よくご覧になると、いくつかのところに、私を見つけることができるかもしれません。

それでは、このような電子機器をもちいらずに日本語を維持するにはどうしたら良いでしょうか。例えば、お子様に日本語で日記を書くことを勧めて、新年度に学校に持ってくるように提案してみるのはいかがでしょうか。他の方法としては、決まった数の漢字や語彙を学ぶことや、日本語の漫画を読むという様な目標を設定させると良いでしょう。日本語を忘れないようにするためには、毎日ほんの少しの時間を使うだけで良いのです。小さな頑張り、新学期が始まった時に大きな意味を持つようになります。けれども、休暇中だということは忘れず、気楽に楽しく学習してくださいね。

私は、インターナショナル・チルドレンに関しての本をいろいろ読んでいますが、以下に、お勧めの本を挙げておきます。すべて www.amazon.com で入手可能です。

The Multilingual Mind Tracey Tokuhama-Espinosa (2003)

Raising Global Nomads Robin Pascoe (2006)

1番のお気に入り: *Third Culture Kids: Growing Up Among Worlds* David C. Pollock / Ruth E. Van Reken (2009版)

海外に行くといえば…日本語教師養成者である私の夫がドイツに2年間赴任することになりましたので、子どもたちと共に、ドイツへ行くことになりました。子どもたちと私は、本物のトリリンガリズムを経験することになり、日本語を維持することと、真新しい言語を学ぶことに直面します。ドイツ語の文法はとて難しいです。(日本語の良いところは、性分類による語形変化がないことと、複雑な動詞の時制がないことです。) 私たちは3年間、KISTで素晴らしい時を過ごすことができました。また何年後かに再会できる日を楽しみにしています。

Stacey Isomura

ESL and Japanese Teacher



シノ・ジャパン

ユース コンファレンス



Taisei(G8A)は、香港と中国で8月3日から9日まで開催される、シノ・ジャパン・ユースコンファレンスにおいて、日本を代表する20人の中高生の一人に選ばれました。

選抜過程において、Taiseiは、2つのエッセイを提出しなければなりません。一つは日本語で、若者の可能性について、そし

てもう一つは英語で中国の日本の将来的な関係についてでした。またもう一つ、故郷の特徴についてのレポートも提出しました。このレポートの中でTaiseiは、船橋の谷津干潟について述べました。Taiseiのご両親によると、彼はいつも会話や環境問題にとて鋭い関心を持ったため、この地域により多くの観光客を誘致するため、それらをこの計画に組み込んだそうです。最終選考では、会議の選考スタッフとの面接も行いました。

Taiseiの素晴らしい業績をたたえ、8月のコンファレンスが実り多い時となるよう願っています。

日曜大工の得意な方を募集しています



この記事は2月と5月のニュースレターにも掲載しましたが、残念ながら、まだ応募者はおらず、砂場を作る計画は実現していません。低学年の生徒たちに、安全で楽しく遊ぶことのできる環境を整えるために、力を貸していただける方を募集いたします。

メインプレイグラウンドに砂場を作るお手伝いをして頂ける、日曜大工の得意な保護者の方を1-2名募集しています。材料の買い出し(費用は学校が出します)と砂場作りを1日ほど手伝って頂きたいと思います。Amanda とGregと共に砂場のデザインをすることになります。

Primaryの低学年の生徒にとって掘ったり、何かを作ったりできる砂場はこの年齢の社会的、身体的、学習的発達にとっても重要です。私たちは生徒がグラウンドを掘り返すことを止める代わりに、砂場を作ることを約束しました。どうか、日曜大工が得意で時間のとれる方はAmanda Cooke

a_cooke@kist.ed.jpまでご連絡ください

スクールコンサート

6月5日は、KISTの中で最も素晴らしい1日の一つだったと当日参加された多くの方がおっしゃっていました。午前中のローワースクールコンサートのクラス発表や可愛い衣装、そして昼間のプライマリーコンサートの歌やダンス、楽器の演奏、そして、ロックバンドやダンス、合唱や楽器の演奏と演劇を含む夜のセカンダリーコンサートまで、学校全体の生徒がバラエティーに富んだ音楽的でドラマチックなステージを見せてくれました。来年、DPIにてIBミュージックが始まる先駆けとして、KISTは芸術を発表する活気にあふれ、盛り上がりを見せている中で、毎年恒例のコンサートは、本校が持っている素晴らしい才能を皆さんにお見せすること好機となったと思います。

